

結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の青森県の人口は 1,436,657 人で、前回調査の 12 年に比べ 39,071 人、2.6%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、青森市が 311,508 人（県人口の 21.7%）で最も多く、次いで八戸市が 244,700 人（同 17.0%）、弘前市が 173,221 人（同 12.1%）、となっており、最も少ないのは西目屋村の 1,597 人（同 0.1%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 679,077 人、女性が 757,580 人で、女性が 78,503 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 12 年の 90.9 から 89.6 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 198,959 人（県人口の 13.8%）、15～64 歳人口は 910,856 人（同 63.4%）、65 歳以上人口は 326,562 人（同 22.7%）となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、1.3 ポイント低下、2.0 ポイント低下、3.2 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 63.0%、女性が 55.8%、未婚率は男性が 29.1%、女性が 20.0%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 3,930 人で、平成 12 年に比べ 894 人、29.4%増加している。
- 7 青森県の一般世帯数は 509,107 世帯で、平成 12 年に比べ 4,734 世帯、0.9%増加している。また、一般世帯のうち 2 人世帯は 134,417 世帯（一般世帯の 26.4%）と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.86 人から 2.75 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 275,923 世帯（一般世帯の 54.2%）で、このうち夫婦のみの世帯は 92,498 世帯（同 18.2%）、夫婦と子供から成る世帯は 130,909 世帯（同 25.7%）となっている。また、単独世帯は 129,313 世帯（同 25.4%）となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 218,280 世帯（一般世帯の 42.9%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単独世帯）は 41,801 世帯（65 歳以上親族のいる一般世帯の 19.2%）、高齢夫婦世帯^{（注）}は 44,764 世帯（同 20.5%）となっている。
（注）夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 70.5%で、平成 12 年に比べ 0.5 ポイント上昇している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 118.0 m²から 118.4 m²と広がっている。

図1 青森県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

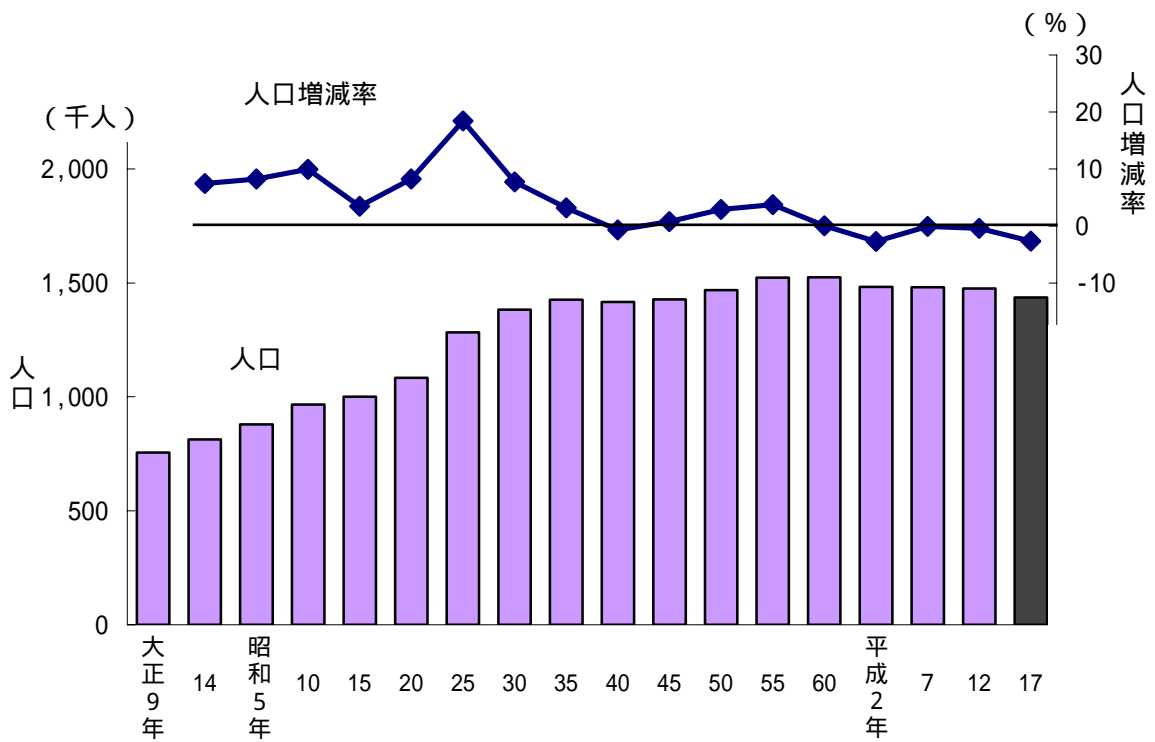


図2 青森県の年齢（各歳）、男女別人口（平成7年・17年）

